



林野庁 北海道森林管理局 根釧東部森林管理署

チュプカの森から

※ チュプカ (cup-ka) とは、アイヌ語で「日の出る方角」「東」という意味です。

請負事業者等への安全指導を行いました

11月中旬に、当署の造林・林道・治山事業を請け負っている事業者や、立木販売の伐採事業者に対し、署長より安全指導を行いました。大型機械が動いている現場での注意事項や、チェーンソーを使った伐倒作業時の注意事項などに加え、路面凍結や降雪が見られる季節になることから、朝夕の車両通勤における交通事故の注意や、コロナ対策などについても、お話ししました。無事故で今年度の事業を終えることができるよう願っています。

伐倒した木材を
フォワーダで搬出

別海町内の防風林にて



作業員の方々へ安全指導

北の森づくり専門学院に講師を派遣しました

北海道では、林業の担い手育成のため、本年4月から「北海道立北の森づくり専門学院」（通称「北森カレッジ」）を開校しています。現在、40名近くの一期生の方々が旭川で学んでいますが、学生さん達は、11月には道内各地の森林・林業の現場を回りながら、地域見学実習を行っています。

根室地域で地域見学実習が行われた際には、根釧東部森林管理署からも、中標津町役場にて行われた室内講義に講師を派遣して協力しました。この講義では、「北海道遺産」にもなっている根釧台地の格子状防風林について紹介しました。

当署の講師の話を
熱心に聴講いただきました「北の森づくり専門学院」
のサイトはこちら→

知床ヒグマ対策連絡会議に参加しました

11月30日、標津町内で「知床ヒグマ対策連絡会議」が開催されました。この連絡会議は、知床世界自然遺産とそれに連なる地域におけるヒグマによる事故防止を目的に、関係機関が連絡調整を行う会議です。斜里町、羅臼町、標津町、北海道、知床財団、環境省、林野庁（知床森林生態系保全センター、網走南部森林管理署、根釧東部森林管理署）が参加しました。会議に引き続き、山中（当署管内国有林を想定）にて、あるいは市街地近くにて、ヒグマが出没して人身事故が発生したときの対応についての机上訓練も行われました。

今年度事務局の標津町
に尽力いただきました国有林内での
事故発生を想定机上訓練には警察や消防の方にも
参加いただきました

〒086-1652 北海道標津郡標津町南2条西2丁目1番16号

TEL 0153-82-2202 (代表) FAX 0153-82-2284

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/introduction/gaiyou_syo/konsentoubu/index.html